

平成23年行政事業レビューシート（外務省）

事業名	在日ブラジル人・ペルー人問題への対処に係る経費	担当部局庁	中南米局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度	担当課室	南米課	課長 星野芳隆				
会計区分	一般会計	施策名	I-3 中南米地域					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第2号, 第14号	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	(1)ブラジル人やペルー人の日本定住に関連して生じる各種問題(教育, 社会保障, 刑事・司法等)に効果的に対応する。 (2)在日ブラジル人が日本国内で犯罪を行い, 国外に逃亡する事例が増加しており, 我が国はブラジル政府に対してこれら逃亡犯罪人の国外犯処罰を要請している。そのような国外犯処罰案件に関し, 裁判の進捗状況のフォローや日本の裁判制度との違い等に関する情報収集を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)昨年度末に政府間交渉を実施し, 実質合意した日伯社会保障協定への, 署名及び締結に向けた作業を進める。また, 在日ブラジル人問題に関し, 両国で立ち上げている司法分野作業部会を継続して実施する。 (2)在日ブラジル人問題を把握するため, 在日ブラジル人が多数居住する外国人集住都市に出張し, 地方自治体の抱える課題やニーズを聴取する。 (3)在日ブラジル問題に関係する司法分野等の専門資料を翻訳する。 (4)在日ブラジル人が日本国内で犯罪を犯し, 国外に逃亡する事例が増加しており, 我が国はブラジル政府に対してこれら逃亡犯罪人の国外犯処罰を要請している。そのような国外犯処罰案件に関し, 裁判の進捗状況のフォローや日本の裁判制度との違い等に関する情報収集を行う。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状況	当初予算	5	10	14	13	9	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	5	10	14	13	9	
	執行額		3	1	0.3			
執行率(%)		60%	10%	7%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	成果実績		在日ブラジル・ペルー人数	372,305	324,920	(未発表)	—	
	達成度		%	—	—	—		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	日伯司法作業部会開催(3回), 日伯社会保障協定交渉(1回)及び署名式の開催, 関連シンポジウムの開催。		活動実績 (当初見込み)	百万	4	0.6	0.3 (14)	— (13)
単位当たり コスト	-		算出根拠					
平成23年度 (単位:千円) 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	謝礼	1,060	700	事業の見直し、単価の見直しによる減				
	旅費	11,411	7,622					
	会議費	551	272					
計	13,022	8,594						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	必要経費を含め、関係省庁とも分担しており、経費削減の工夫は十分に行っている。司法分野の通訳や翻訳は特に専門分野の知識が必要であり、これ以上コストを抑えれば、その単価に見合ったより質の劣る人材しか雇えないため、必要な作業に支障が出るのが懸念される。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		事業の見直し,単価の見直しによる減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業の見直し,単価の見直しによる減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

外務省
0. 3百万円

在日ブラジル人及び在日ペルー
人問題への対処に係る経費

A. 出張者1名
0. 1百万円

旅費

B. 日ポルトガル語通訳者
0. 1百万円

通訳業務

C. 第2回 日本・アルゼンチン
交流シンポジウム講師(4名)
0. 2百万円

講師謝金

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	謝礼	日アルゼンチン交流シンポジウム講師謝金(4名)	0			
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	謝礼	日伯司法分野会議事の通訳	0			
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	ブラジルからサンパウロへの国内旅費	0			
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	講師A	第2回 日亜交流シンポジウム講師謝金	0.05		
2	講師B	第2回 日亜交流シンポジウム講師謝金	0.05		
3	講師C	第2回 日亜交流シンポジウム講師謝金	0.05		
4	講師D	第2回 日亜交流シンポジウム講師謝金	0.05		
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	通訳者A	日伯司法分野作業分野作業部会における通訳	0.1		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	ブラジル国内出張費	0.07		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					